

# 大里中学校 美術科シラバス 1 学年



## 1 授業のねらい（身につけて欲しい力）

教科書名「美術 1（日本文教出版）」  
補助教材「美術資料」

- ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。
- ・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考える。主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。
- ・楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

## 2 授業の進め方

- ・題材ごとに理論や技法を学習してから制作し、題材終了時に作品を提出する。制作にあたっては、ワークシート やアイデアスケッチを通して構想を練り、見直しを持って取り組む
- ・鑑賞の授業では、まず対話型鑑賞を行ってから、作品の技法や歴史背景について学習する。
- ・全体への説明の他に個人添削や机間巡視を行い、生徒それぞれの意図や工夫に応じた指導を行う。
- ・グループでの鑑賞や話し合い等、主体的・対話的を適宜取り入れる。
- ・題材の最後には完成した作品を相互に鑑賞し、意見交換を行う。

## 3 学習上の留意点

- ・授業には、美術バッグセット（絵具セット、教科書、資料、ファイル）とタブレットを持ってくること。
- ・個々の材料や道具には記名をして管理すること。
- ・自分も他者も集中して授業に取り組めるように気を配り、準備や後片付けを徹底すること。
- ・提出物の期限を遵守すること

## 4 補助教材の活用方法（自学自習の進め方）

- ・アイデアスケッチやプリントを管理するためのファイルを1年時に配布する。3年間持ち上がりで使用する。
- ・画用紙、粘土、版画セットなど、基本的な材料等は授業時に配付する。
- ・題材によっては、上記に加えて各人で素材を持参する。
- ・生徒の意図に応じて、美術室内本棚の図鑑や図書を参考文献として自由に参照できる
- ・技法の伝達や、表現技法の模索（アイデア）として美術資料、オンライン教材を使用する

## 5 単元テスト

- ・実施しない  
※単元テストのみで評価が決まるわけではなく、次の評価の内容と方法で総合的に学習状況をみとって評価します。

## 6 評価の内容と方法

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容	<ul style="list-style-type: none"><li>○材料や道具の特性を理解し、使用することができる。</li><li>○見直しをもって、丁寧な作業工程である。</li><li>○作品の完成度を高め、仕上げるすることができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○個性豊かな感性である。</li><li>○アイデアなどの発想力が豊かである。</li><li>○表現したい内容に合わせて、材料や道具の工夫がある。</li><li>○作品の内容を深く思考し、表現することができる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○制作時間の見直しをもって、計画的に取り組む仕上げるができる</li><li>○最後まで粘り強く取り組むことができる</li><li>○毎時間のめあてとふりかえりを通して自身の学習進度を把握して授業に臨める</li></ul>
方法	<ul style="list-style-type: none"><li>○学期課題の提出作品。</li><li>○授業中の制作のようす。</li><li>○ワークシート など</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○学期課題の提出作品。</li><li>○授業中の制作の様子。</li><li>○制作途中のアイデアスケッチ。</li><li>○ワークシートの表現</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>○授業中の様子。</li><li>○課題制作の様子</li><li>○振り返りシートなど</li></ul>

この方法で学習状況をみとり、各单元ごとで示す「ルーブリック」に照らして評価します。

7 授業計画（見通しを持って予習・復習の自学自習に取り組みましょう。提出物も忘れずに！）

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
1 学期	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・素描・スケッチ</li> <li>*鉛筆による素描の技法や工程について学習する。</li> <li>*自分の靴を画用紙に鉛筆を使って素描する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・色彩の学習</li> <li>*色彩の概念を学ぶ</li> <li>*色の持つ特性やイメージなどを学習する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レタリング、文字のデザイン</li> <li>*文字のデザイン、フォントについて学ぶ</li> <li>*自分の名前にデザインを加えて絵文字を制作する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞「絵の中にある物語」</li> <li>*人物や場面を表現した絵画から自分の感じた事や考えたことを他者に伝える。</li> <li>*他者の考えを聞いて、作品の見方を広げる</li> </ul> <p>1学期のふりかえり 夏休み課題説明・題材設定など</p>	授業姿勢 作品やワークシート等 提出課題の成績を総合的に 勘案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鉛筆の技法を理解し、形と陰影、質感などを表現する</li> <li>・色の特性や色の与える印象の違いを理解する</li> <li>・基本的なフォントを学習し、特徴を理解し描ける</li> <li>・アクリルグワッシュの使い方や特性を理解し、工夫して表現する</li> <li>・相手への伝わりやすさとデザインの美しさのバランスを考えて、制作する</li> <li>・相互に作品を鑑賞し、作者の意図や工夫を感じとり作品の見方を広げる</li> <li>・作品を見て登場人物の様子や表情から心情を読みとる。</li> <li>・感じた事や考えを他者に伝えるとともに他者の考えに関心を持ち、作品の見方を広げる</li> </ul>
	5			
	6			
	7			
2 学期	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一版多色木版</li> <li>*身の回りの人物の魅力を版画で表現する</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物を作る</li> <li>*紙粘土で、本物そっくり食べ物を作る</li> </ul>	授業姿勢 作品やワークシート等 提出課題の成績を総合的に 勘案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマをもとに、主題を生み出す</li> <li>・木版の制作方法を学び、特徴を生かして制作する</li> <li>・相互に作品を鑑賞し、作者の意図や工夫を感じとり作品の見方を広げる</li> <li>・テーマをもとに、主題を生み出す</li> <li>・木版の制作方法を学び、特徴を生かして制作する</li> <li>・相互に作品を鑑賞し、作者の意図や工夫を感じとり作品の見方を広げる</li> </ul>
	9			
	10			
	11			
	12			
3 学期	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鑑賞「屏風、美のしかけ」</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デザイン つながる模様スタンプ</li> <li>*消しゴムスタンプでオリジナルハンカチを作る</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・モダンテクニック（メッセージカード）</li> <li>*モダンテクニックを使用したメッセージカードを作成する</li> </ul>	授業姿勢 作品やワークシート等 提出課題の成績を総合的に 勘案する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品を見て造形的な良さや美しさを味わう。感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる</li> <li>・連続する模様の仕組みを理解し、つなげ方を工夫しながら制作する</li> <li>・他者の作品とつなげることによる新たな美しさを感じ取る</li> <li>・相互に作品を鑑賞し、作者の意図や工夫を感じとり作品の見方を広げる</li> <li>・モダンテクニックを体験し、制作方法を理解する</li> <li>・伝えたい内容に合わせて色彩や技法を選びとり制作する</li> </ul>
	2			
	3			